



ほけんだより

2023年 7月
沼袋西保育園 看護師

梅雨空が続き、蒸し暑く感じられる日々です。梅雨明けが待ち遠しいですね。
例年この時期は風邪症状が多くみられます。

園では6月中旬よりアデノウイルス感染症(プール熱・流行り目を含む)、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症など高熱を伴う風邪様の疾患や、下痢症状で欠席されるお子さんが増えております。

感染症を避ける為に、今一度手洗いなどの感染対策を行しましょう。

登園前にお子さんの体調チェックと一緒に、体温の測定をしましょう。

新型コロナ感染症は5月より全数報告はなくなりましたが、感染状況は増加傾向のようです。

家族が陽性の場合、症状がないお子さんは登園できますが、玄関での対応になる場合もありますので、園にぜひお知らせください。



夏に流行する感染症



「プール熱(咽頭結膜熱)」アデノウイルス

39℃以上の高熱、喉の痛み、身体のだるさ、結膜炎などの症状の他に頭痛、腹痛、下痢などの症状が出ることもあります。感染力が強いため、症状が消えた後2日を経過するまではお休みします。登園には医師の許可書が必要です。治癒後も便中にウイルスが排泄されるため石鹸で手洗いをします。

「手足口病」

手の平、足の裏、口の中に赤い湿疹や水疱が出るのが特徴で、膝やお尻など広範囲に発疹がでたり、つめが生え変わることもあります。高い熱がでることもあります。原因ウイルスが複数あるため、何度も罹る可能性があります。

「ヘルパンギーナ」

突然の39℃以上の高熱が2~4日続き、喉の奥が赤く、小さな水疱や潰瘍が見られます。喉の痛みが強く、食事が飲み込みにくくなる場合があります。原因ウイルスが複数あるため、何度もかかる可能性があります。

「RSウイルス感染症」(RSウイルス)

「かぜ」の原因のひとつ。2歳までにほとんどの人が罹るといわれ、発熱、咳、鼻汁が主な症状です。何度もかかる可能性がありますが、初感染の症状が重く、特に生後6か月未満の乳児では呼吸器症状の重症化のため入院することもあります。

●爪はきれいかな？



夏に向けて、いやーな「蚊」も増えてきます。虫刺されの痕はかきこわすと「とびひ」になってしまうことがあります。「とびひ」は健康な皮膚にどんどん広がり、きちんと治療しないとプールに入れない場合もあります。爪に隠れた細菌によるものです。お子さんの爪が伸びていないかチェックしましょう。

●子どもの爪のケア



爪のケアは、手は1週間毎・足は3~4週間毎に確認をお願いします。子どもの爪は、薄くて切りにくく、うっかり深爪してしまいがちです。切りにくい時は、つめやすりで削るほうが調節しやすいです。



7月の保健行事

5日(水)身体計測:幼児クラス
6日(木)身体計測:乳児クラス

13日(木) 9:30~0 歳児健診
25日(火) 14:30~0 歳児健診